



福岡産業デザイン賞 受賞商品集
FUKUOKA DESIGN AWARD 2004





福岡県知事
麻生 渡

「福岡産業デザイン賞」も今年で6回目を迎え、年々、企業とデザイナーとの協働による商品が増える中で、商品開発にデザインを活かす「福岡産業デザイン賞」の趣旨が定着してきていることを大変嬉しく思います。

本県は、日本有数のデザイン事務所集積地であるとともに、多くのデザイン関連教育機関にも恵まれ、デザインに関する大きな潜在能力を持っています。一方、県内企業においては、高度なものづくりの技術が蓄積されています。企業が、激化する国際競争を勝ち抜き、さらに繁栄していくためには、高度な技術と、機能・品質・安全性などの観点からものづくりをとらえたデザインを結びつけ、付加価値の高い商品開発を進めることが重要です。このような認識のもと、本県においては、商品開発におけるデザイン活用を推進し、県内企業の競争力の強化を支援するため、福岡県産業デザイン協議会と連携して事業を進めています。

今後、ますます企業とデザイナーとの連携が広がり、福岡県から素晴らしいヒット商品を生み出していただくことを期待しています。



福岡県産業デザイン協議会
会長 水口 敬司

福岡県産業デザイン協議会は、福岡県の産業がデザインで付加価値を高め、ひいては、産業競争力を高めて頂こうという目的で、平成9年に発足いたしました。


その中心となる事業であります「福岡産業デザイン賞」も、今年で6回目を迎えました。今年は102件という、例年になく多数の応募をいただいております、特に、企業の皆様と若手デザイナーとのコラボレーションで生まれた商品の応募が目立ちました。

今日のように、厳しい経済情勢が継続し、中国をはじめとするアジア企業が競争力を強める中で、地域企業が発展していくためには、デザインを経営資源として位置づけ、戦略的に活用していくことが、益々重要になっていくと考えております。







今後とも、本県におけるデザイン振興の中核組織として、デザインの戦略的活用に向けて支援して参りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

部門	商品名	企業名
----	-----	-----







大賞

 ライフスタイル部門	DAIDABO (ダイダボ)	東木工 (株)
---	----------------	---------

優秀賞

 地域文化部門	久留米緋「緯～TSUKANE～」 ブランドの商品群	(有)坂田織物
 マテリアル部門	Limix+ (ライミックスプラス) Limix (ライミックス)	田川産業 (株)
 テクノロジー	アーバネクスシリーズ FFタイプ	昭和鉄工 (株)
 環境・福祉部門	フェアベリッシュ	月星化成 (株)
 ライフスタイル部門	ワンストロークテーブル II	(株)丹創社
 インターフェース部門	Baby First	宮原タオル (株)

奨励賞

 地域文化部門	紫野工房 博多織草木染め 「女性のためのトータルファッション」	西村織物 (株)
	ほうしよう	鵬翔 (株)
 マテリアル部門	フリーウォーカー	荒木窯業 (株)
	ハンディ連 (REN)	(株)橋爪ブロック工場
	モクブル (木のサンプル)	(有)ホルツマーケット
 テクノロジー部門	オーロラマーカー	(株)タカギ
 環境・福祉部門	籾殻トレー製造用バイオマス自家発電システム	(株)環創
	パシーマえり付き長袖パジャマMまる柄	龍宮 (株)
 ライフスタイル部門	アクアセンサー	(株)秋山工業
	パルファンシリーズ	(株)アダル
	エレキット 真空管アンプキットシリーズ	(株)イーケイジャパン
	インフィルハウス大川の家	大川の家ベンチャーグループ
	バックテーブル	志岐木工 (株)
	がばん	志岐木工 (株)
	「d・FENCE」	(株)伸栄金属製作所
	シンクロ3350TV・シンクロ3116キュリオ	モリタインテリア工業 (株)
	GALA (ガラ) Settee/Side Chair	広松木工 (株)
	フィギュアケース T3AMC440型	(株)マコム
コトノハチャンネル コトノハブック	福岡印刷 (株)	
 インターフェース部門	筑前博多丹念シリーズ「つるとさらり」 納豆石けん・納豆ジェル・納豆化粧水	(株)オフィス K
	燈心草 いぐさソープ・いぐさ炭ソープ	まると油脂化学 (株)
	あんしんな洗濯用石けん	まると油脂化学 (株)

デザインを活用した商品開発の促進を目的に創設された本表彰制度は、6回目を迎え、今年度は昨年度をしのぐ102件（63社）の商品や製品などの応募がありました。今年度も過去の応募や受賞実績のある企業から多くの参加があり、本事業の継続性の意義を感じさせる審査となりました。「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの独創性・新規性・先進性」を選考基準に、昨年同様、以下の6部門に区分し、書類および実物、概要パネルなどによって審査委員も8名で審査にあたりました。

- 地域文化部門：工芸的価値があり、地域に貢献している商品。
- マテリアル部門：ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きい素材・部品。
- テクノロジー部門：技術面や性能面が優れている商品・製品。
- 環境・福祉部門：地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる商品。
- ライフスタイル部門：新しいライフスタイルを提案している商品。
- インターフェース部門：パッケージ等ユーザーとのインターフェースに優れている商品。

1次審査は、各応募内容の確認と書類審査、そして2次審査用の目安のための部門分けを行いました。2次審査は、1次審査での事前資料を基に各審査員が実物やパネル等を照査して入賞候補案を仮選定した後、審査委員が部門別に分かれて、応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査を行いました。その後、公開審査結果を踏まえての審査員による協議を経て、評価が高かった29件の入賞候補案を選定しました。今回は、最初に協議により最優秀である大賞1件を候補として選定した後、各部門別の優秀賞6件、奨励賞22件を選びました。大賞と優秀賞は、まず入賞候補29件の内、各部門別で1から2件、特に高い評価が得られた7件の中から、デザイン活用度と総合的に優れ、かつ今後の事業化の可能性が大きい大賞1件選出し、残りを優秀賞6件としました。奨励賞22件の内訳は、今年度も応募件数や完成度などが部門毎に偏りがありました。特に、例年以上にライフスタイル部門への家具関連の応募が多く、ライフスタイル部門が奨励賞の半数（11件）を占めました。残り11件は、多い順にインターフェースとマテリアル部門各3件、環境・福祉部門と地域文化部門各2件、テクノロジー部門は1件という結果でした。

大賞を受賞した「DAIDABO（ダイダボ）」は、商品名が表現しているようにユニットを相互に差し込んで自立する棚になり、また単体としても機能する、といったユーザーがライフシーンを創り出すことのできる新しい家具、シンプルでまとまりのある商品に結びつけたことなど、審査委員全員から高い評価を得ました。また「DAIDABO」は、家具の既成概念にとらわれず、置かれる環境に呼応しながら変化する明快な楽しみを備えており、家具の事業化の新たな方向を示唆していることも、大賞にふさわしいと判断されました。

部門別では、上述のようにライフスタイル部門が多数の受賞を果たしました。この部門は、大賞以外にも意欲的な優れた家具が多く受賞したこと、家具以外にもオーディオキットやフィギュアケースなどの嗜好性の高い商品が入賞したことが特筆されます。生活用具や用品は、ユーザーの独自のライフスタイルをかたちづくる重要な要素といえます。国際的価格競争の中で、これまでの低価格化を含めた機能重視のものづくりから、ユーザーの視点からのものづくりへの取り組みが感じられます。マテリアル部門と環境・福祉部門は、昨年と同様に、精緻な機能美が評価され、応募件数に比べ受賞件数の割合が高い部門です。特に、マテリアル部門の「Limix+（ライミックスプラス）」は、以前受賞した不焼成漆喰セラミックスの石炭灰によるリサイクル商品化であり、大賞に匹敵する評価が得られました。これらの部門は、永年培ってきた独自の技術を製品化に結びつけたデザイン活用の成果の一つといえます。テクノロジーと地域文化部門は、例年に比べ応募数も受賞も減りましたが、受賞した商品等は、いずれもレベルが高く、特に優秀賞となった「アーバネクスシリーズFFタイプ」や「久留米餅」は、大賞に並ぶものでした。これらは、これまでも数回の受賞を果たした商品等のシリーズ化であり、継続的なデザイン開発が質の厚みを深めています。インターフェース部門は、昨年よりも受賞数が増えました。この部門でも、過去に受賞経験を有する企業が多く、優秀賞の「Baby First」は昨年の大賞受賞作のシリーズ商品化など、継続的なデザイン活用の成果があらわれてきたといえます。

第6回福岡産業デザイン賞は、応募商品等の質が高く、短時間での賞の選考の難しさを感じましたが、地域性を活かした次代の生活シーンを創出するデザインを選ぶことができたと思います。「ふくおからしさ」を国内外に発信できる大賞、優秀賞、そして奨励賞となりました。今回の受賞の多くは、過去の受賞を礎に、継続的なデザイン活用による質の高度化を果たしています。また、商品開発への取り組みが評価され、今後のデザイン活用を期待する商品等の受賞もありました。デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能と感性の融合によって具現化し事業に結びつけることと考えます。来年度も「ふくおからしさ」を発信できる商品や製品が多数応募されることを期待しております。

審査委員長 **森田昌嗣**（九州大学大学院芸術工学研究院 副研究院長 副学府長 副学部長・教授）

技術よりからデザインよりの製品まで広い分野の参加があって地域の特徴が手に取れて面白い体験であった。それだけに審査は困難で十分に技術の内容を理解しきっての審査ができたかは心残りがある。これからの時代は商品開発ではなく事業開発を意識する必要があるのだが、その意味ではこの産業デザイン賞も商品（その技術とデザイン）+その流通の考え方+パッケージやポスターなどの情報デザインなどの総合的な提案が求められるようになると思う。

最高賞の大賞となったDAIDABOはバランスのいい提案である。デザインが持つべきストーリー性は「一つの棚だけでは自立できないけれど二つで力を合わせて一つの棚をつくる」、というロマンティックな内容を秘めているし、二つだけではなく三つ、四つとつないで増殖することもできる。二つを奥まで差し込めば梱包も小さくなって輸送に有利だし、シンプルで現代的なイメージが商品として事業的な成功を導く予感がある。すぐれた作品である。

審査委員 黒川雅之(黒川雅之建築設計事務所主宰)

20世紀型の効率を優先する大量生産と消費がもたらしたスタイルや価値のベクトルは、今、皮肉にも全く反対の方向を向き始めている。単にモノを効率良く生産するのではなく、より上質で多様で知的に人々の心をとらえる全体的な意味性と物語性があらためて求められているのだ。

この多様性や上質感を求める流れは、例えば量から質への変換として地方の地場産業やより小規模でドメスティックなモノづくりやサービスへと人々の興味と価値観をシフトしはじめるのである。まさに地方の時代への流れを加速する大きなチャンスを開きだしているとも言える。この流れをしっかりとつかむために時代価値に見合う製品の質や意味が何かをしっかりと理解し共鳴できる感性と技術が求められるのだ。

本事業は、これらの観点から行政が地元産業をインスパイアし、新しい価値観の理解と創造力を支援するよい機会を与えてきた。企業も行政も時代の変化へのチャレンジが共に必要だからだ。市場は日々変化し続けている。今日では、製品価値だけではなく企業の理念や発信されるあらゆる情報を通して形成される企業価値の全ての表現に高い質が求められるようになった。いわゆるブランドの確立(ブランディング)という考え方がわかりやすいだろうか。ブランディングとはデザインという手法をよく理解し、モノから情報(ハードからソフト)を遍く有効に活用し、その全体の関係性の総和を美しく表現すること、即ち魅力の創造ということである。

今回の大賞作品は、その意味から魅力の創造への変化の兆しを感じとられたひとつである。作品は合理的でシンプルなシェープでありながら、使用場面(ライフシーン)へのアプリケーションに富むところなど、安全性やテクスチャーの上質感などディテール表現に於て未消化な部分を残してはいるものの、今日のマーケットへの対応力をまずはしっかりと捉えている。

今回評価を受けた多くのプロダクトに共通して言えることは、今までにない観察力(古い価値観に束縛されない)を持った若手デザイナーや経営者とのコラボレーションを通して、地場産業に於ける時代やマーケットを見る目、またモノづくりのあり方などの変化への新しい挑戦の型や意識を見てとれることだ。

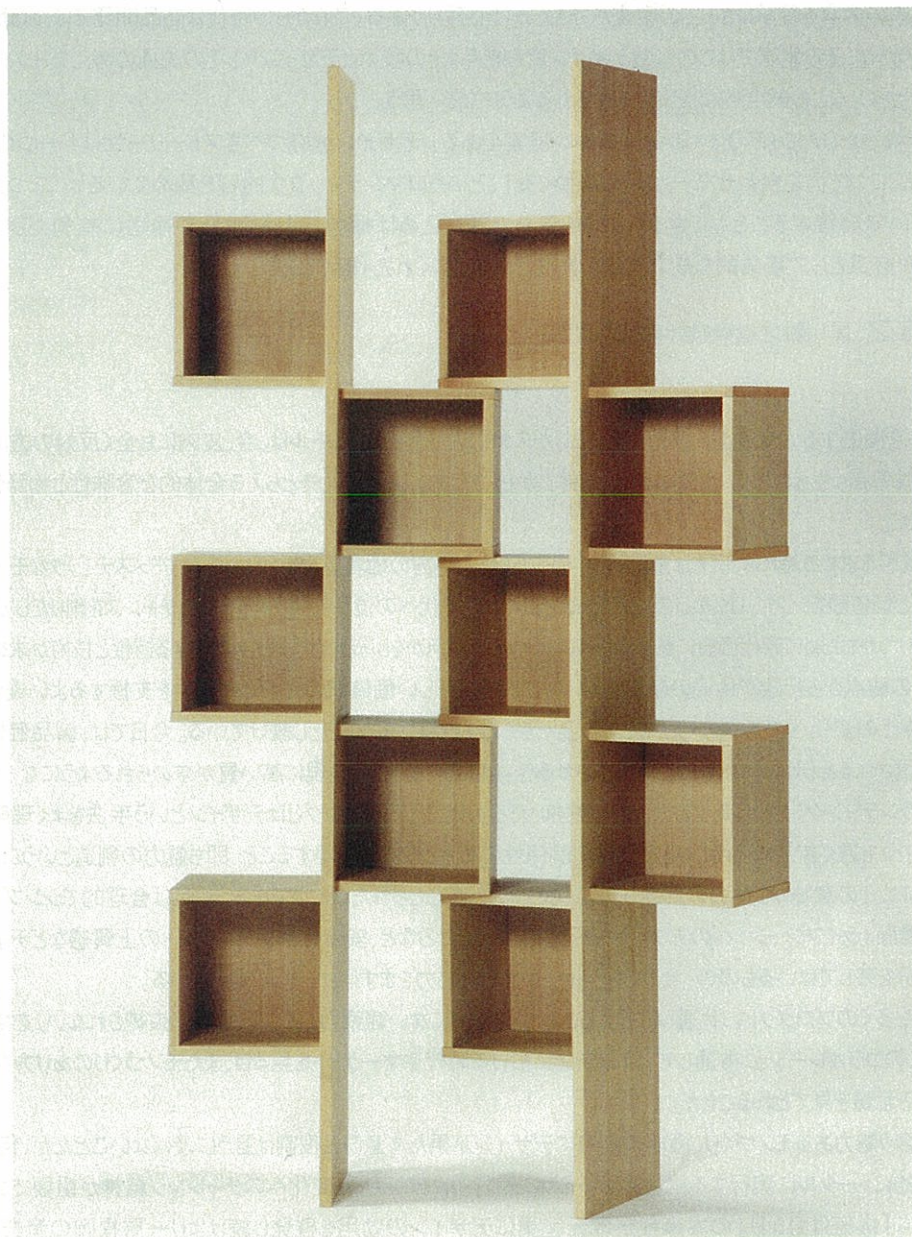
新しい時代に見合う魅力あるモノづくり、価値の創造にデザインが果たす意味と役割は言うに及ばないことだが、何よりもそれを正しく理解し、戦略的にトータルに実行する経営・マネジメントレベルでの英断、変化へのチャレンジ精神が重要である。その一歩を踏み出すために「継続は力なり」の本事業が地元産業にデザインの効用を啓発し続けより一層福岡の産業とプロダクトが大きな存在価値を示していけることを願ってやまない。

審査委員 島田一郎(TRIGONAL DESIGN SYSTEMS 代表)

福岡産業デザイン賞審査委員

審査委員	委員長	森田 昌嗣 氏	デザインディレクター(九州大学大学院芸術工学研究院 副研究院長 副学府長 副学部長・教授)
	委員	黒川 雅之 氏	建築家/インダストリアルデザイナー(黒川雅之建築設計事務所主宰)
		島田 一郎 氏	デザインコンサルタント(TRIGONAL DESIGN SYSTEMS 代表)
		かねこしんぞう 氏	グラフィックデザイナー(有限会社 インデックス・コムズ代表取締役)
		鮎川 透 氏	建築家(株式会社 環・設計工房代表取締役)
		平井 康之 氏	インダストリアルデザイナー(九州大学大学院芸術工学研究院助教授)
		大歯 滋喜 氏	福岡県産業デザイン協議会企画専門委員会委員長(昭和鉄工株式会社常務取締役)
		加生 幸彦 氏	プロダクトデザイナー(東陶機器 株式会社 デザインセンター主幹)

ライフスタイル部門



商品名 DAIDABO (ダイダボ)
 企業名 東木工 株式会社
 〒831-0035 大川市大字津605-1
 代表取締役 東 三起雄
 TEL 0944-88-1238 FAX 0944-88-1522
 E-mail ryuuken@blue.ocn.ne.jp

デザイナー Design Ship 虎 (福岡デザイン専門学校)
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目10-10
 代表 中嶋 尚孝
 (福岡デザイン専門学校環境デザイン科主任)

審査講評

木製板材と2ないし3個の箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ユニットの数や組み合わせ方を変えることで、生活者のライフスタイルに対応した使い勝手が工夫できる新しい型の家具提案が高く評価された。また応募者は、若い单身者向けをターゲットとしているが、家族向けのリビング用やホームオフィスなどへの展開も可能であるなど、本商品の将来性も高く評価された。

特に、本商品は、大川家具産地での産学連携による家具開発プロジェクトの一つであり、これまでの家具の概念にとらわれない自由な発想によるデザインを、家具メーカー数社協働により商品化へと結びつけていることが、今後の大川における家具開発の新しい途を示唆している。今年度から大川では、国や福岡県などの支援を受け「大川インテリア産業リバイバルプラン」が進められている。国内外に向けての大川ブランド確立のための事業であり、今回大賞を射止めた本商品は、大川ブランド確立の先駆けとしても意義深いものといえる。

【森田昌嗣】

地域文化部門



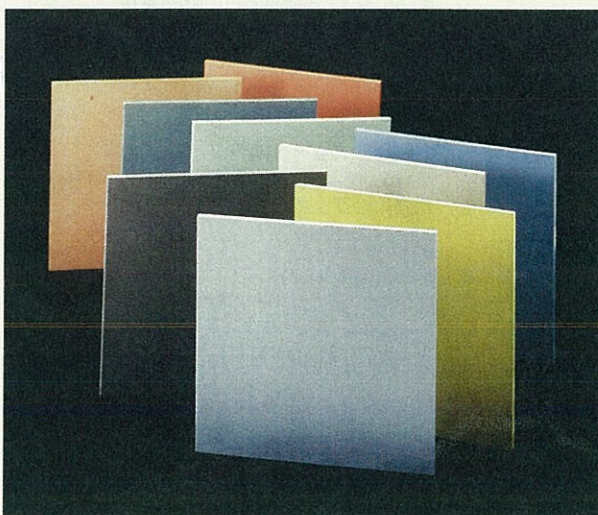
商 品 名 久留米緋「緯～TSUKANE～」
ブランドの商品群
企 業 名 有限会社 坂田織物
〒834-0105 八女郡広川町大字長延602
代表取締役 坂田徹裕
TEL 0943-32-1402 FAX 0943-32-4900
URL <http://www.sakataorimono.com/>
E-mail kasuriya@axel.ocn.ne.jp
デザイナー 株式会社 ピー・エー・デザイン
〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目11-22CSビル3F
代表取締役 坂口和夫

〈審査講評〉

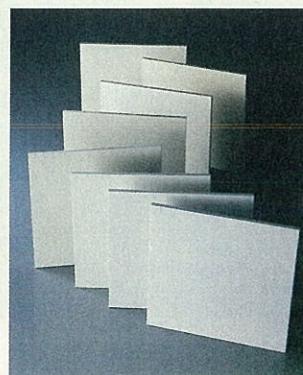
第4回(平成14年度)福岡産業デザイン賞優秀賞を受賞した「筑後もめん日傘」の新たなシリーズ展開、そしてブラウスと帽子をアイテムに加えた久留米緋ブランド商品化。

今回も伝統的な緋のイメージを維持しながら従来の久留米緋にとられない商品を開発し、未加工でも緋自体でのUVカット性能を兼ね備えている。「筑後もめん日傘」は、平成13年度に奨励賞を受賞後、改良を重ね、その翌年の優秀賞につながっている。その後、更なる日傘の改良を重ねながら商品展開の幅を広げており、今回、これら商品ブランド戦略への積極的な取り組みが高く評価された。また、これまでの努力が実り、全国的に筑後もめん日傘が認知され、売り上げ増加にも結びついていることも評価された。【森田昌嗣】

マテリアル部門



商 品 名 Limix+ (ライミックスプラス) / Limix (ライミックス)
企 業 名 田川産業 株式会社
〒826-0041 田川市大字弓削田1924番地
代表取締役社長 行平信義
TEL 0947-44-2240 FAX 0947-44-8484
URL <http://www.shirokabe.co.jp/>
E-mail info@shirokabe.co.jp



〈審査講評〉

漆喰タイル「ライミックス」は、不焼成真空高圧成形という独自の製造方法によるもので、不焼成であるためCO₂の排出量も少なく、また物性上調湿機能を有し、人にやさしい画期的な新素材として評価され、平成15年度グッドデザイン賞 / 中小企業庁長官特別賞を受賞している。

「ライミックスプラス」は、火力発電所から排出される石炭灰を60%以上配合したリサイクル内外装建材として進化させた。石炭灰の高率配合により、やや彩度の高かった「ライミックス」に比べ、低彩度のグレイッシュカラーバリエーションで落ち着いた奥深い色展開を実現。和テイストの空間にもマッチする。年々進化していく「ライミックス」。今後どのように進化するのが楽しみである。平成16年度グッドデザイン賞 / エコロジーデザイン賞受賞。 【加生幸彦】

テクノロジー部門



商 品 名 アーバネクスシリーズ FFタイプ
 企 業 名 昭和鉄工 株式会社
 〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭3丁目1番35号
 代表取締役社長 山本駿一
 TEL 092-651-2939 FAX 092-651-2698
 URL <http://www.showa.co.jp/>
 E-mail y_hirota@showa.co.jp

デ ザ イ ナ ー 株式会社 ビー・エー・デザイン
 〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目11-22CSビル3F
 代表取締役 坂口和夫

〈審査講評〉

アーバネクスシリーズは「街路のオープン化」という理念で、街路で使用される景観装置の開発を進めているシリーズものである。今回のFFタイプは、街路・公園・建築外構等に設置される、歩行者、自転車用の防護柵（横断防止柵・転落防止柵）シリーズに属する商品である。本シリーズは、第1回福岡産業デザイン賞の優秀賞・グッドデザイン賞の金賞等を受賞しており、商業的にも全国規模の市場で認知されている実績がある。福岡産業デザイン賞の目的を具現化している商品の一つとして、開発力、デザイン力は、安定したものがある。

アーバネクスシリーズは、商品開発の企画段階から、プロモーションにいたるまでデザイナーが深く関わり、開発コンセプトとデザインオリティに一貫性が認められる所が高く評価された。またFFタイプは3ウェイレールマウント方式の採用、レールを途切させずに連続してジョイントするレールブラケット・設置場所の勾配にも対応する標準部材の開発等で安全性の向上と多彩な場面でのデザインの展開を可能にし、総合的な発展性も評価された。【森田昌嗣】

環境福祉部門



商 品 名 フェアベリッシュ
 企 業 名 月星化成 株式会社
 〒830-8622 久留米市白山町60番地
 代表取締役社長 田中久義
 TEL 03-3403-1485 FAX 03-3403-9249
 URL <http://www.moonstar.co.jp/>
 E-mail esaki@moonstar.co.jp

デ ザ イ ナ ー 有限会社 フェアベリッシュ
 〒145-0064 東京都大田区上池台1-12-5東興ビル1F
 代表取締役社長 伊藤弘美

〈審査講評〉

要介護者並びに高齢健常者を対象に、スライドファスナーを採用し足の甲部分が全面開放するリハビリ用介護靴。今まで足入れが困難だった要介護者や高齢者が、座ったままや寝た状態からも履くことができ、足の甲にあたる部分は柔らかな素材を用いて痛みを伴わないものとなっている。

要介護者や高齢者の靴の使用状況を綿密な調査や介護の実体験などを踏まえ、スライドファスナーや素材選定などの機能面に、きめ細やかな配慮が施されていることに高い評価を得た。また、この種の靴は、機能面が主となりファッション性の配慮が欠ける場合が多いが、本商品は、形態や色づかいなどを考慮している点も評価された。ただし、ファッション性については、素材と色の関係やワンポイントデザインの意味性など、更なる検討を期待したい。【森田昌嗣】

ライフスタイル部門



商品名 ワンストロークテーブルⅡ
 企業名 株式会社 丹創社
 〒816-0932 大野城市瓦田4丁目14番39号
 代表取締役 中田泰之
 TEL 092-591-2522 FAX 092-591-2572
 URL <http://www.tansosha.co.jp/>
 E-mail kanri@tansosha.co.jp

デザイナー 株式会社 スピングラス・アーキテクト
 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-2-5-1001
 代表取締役 松岡恭子
 株式会社 エフキャスト
 〒811-2112 粕屋郡須恵町植木1257-10
 代表取締役 古屋裕司

〈審査講評〉

その名称のように一筆書きの金属フレームに木製ボックスが組み合わされた可動テーブル。洗練された形態と素材の組み合わせに商品としての完成度の高さを感じる。商品として有りそうだが実はバリエーションが少ないアイテムであり、ことに天板がボックスになっているものは、知る限り思いつかない。またワンストロークは、デザイナーが追求しているモチーフであり、シリーズ化の2作目として制作されたもので今後もさらなる展開を考えているという。そのような意味でもオリジナリティーやアイデアをアピールした商品として高く評価された。

制作にあたっては、デザイナー、金物、加工、木製品のメーカーが密にコラボレートして生まれた商品である。ことに木部と金属部の納まりや溶接部の仕上げ処理などに高度な職人的技が見られる。しかし、生産数量と設定単価のバランスを考えれば、そこが、コストアップの要因とも言え、さらなる検討を重ねることにより、賞にふさわしい商品に成長することを期待したい。

【鮎川透】

インターフェース部門



商品名 Baby First
 企業名 宮原タオル 株式会社
 〒839-1233 浮羽郡田主丸町大字田主丸145-2
 代表取締役社長 宮原良次
 TEL 09437-2-3232 FAX 09437-2-0345
 URL <http://www.miyahara-t.com/>
 E-mail miyahara@jb3.so-net.ne.jp

デザイナー 有限会社 NT DESIGN
 〒814-0142 福岡市城南區片江3-22-4
 長峰秀鷹
 垣田健一郎デザイン事務所
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂3-13-32-205
 垣田健一郎
 株式会社 利助オフィス
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-15-6KH22ビル5F
 手島裕司

〈審査講評〉

昨年の大賞受賞の「あんしんなタオル」を発展させた、新生児を対象としたあんしんな肌着「ベビー ファースト Baby First」。化学薬品を一切使用せず、優れた吸水性と天然の柔らかさを実現。初めて触れる赤ちゃんでもあんしんして使用できると云うのがこの商品のコンセプトであった。出品はベビー用品として肌着、タオル、アフガン、スタイの4品目の商品で構成され、すべてが無着色、無漂白で素材の綿のままの色合いで、色彩的にも脚色の嫌みが無く安心感を与えた。商品の機能性はターゲットの特性に合わせて、綿素材のニットや2重ガーゼ、5層織りガーゼなどが使用されており、きめ細かい配慮がなされていた。

この様なメーカーの姿勢とネーミングやラベルやパッケージ、その他の商品環境の整備がバランス良くされている点が、今回のインターフェース部門の受賞の大きな評価を得た。

【かねこしんぞう】

地域文化部門



商品名 紫野工房 博多織草木染め 「女性のためのトータルファッション」
 企業名 西村織物 株式会社
 〒818-0061 筑紫野市紫7丁目3-5 代表取締役 西村悦夫
 TEL 092-922-7038 FAX 092-925-2925
 URL <http://www.oriya-nishimura.co.jp/>
 E-mail teruko@oriya-nishimura.co.jp

審査講評 伝統的な博多織のシルク生地を使用した肌触りを重視した生地の開発による草木染めのスカーフ、ウェア等商品群。

本商品群は、第4回（平成14年度）の優秀賞を受賞したストールでの博多織の帯のシルク生地の特徴を活かし、丹念な手染めによる繊細な色の組み合わせと透けるような草木染めの美しさを、関連する服飾品に展開したことが評価された。特に、ストールの新たな織りと染めの工夫は、まさに伝統の技と美が結びついた伝統産品の現代的な取り組みの妙として高い評価を得た。【森田昌嗣】

地域文化部門



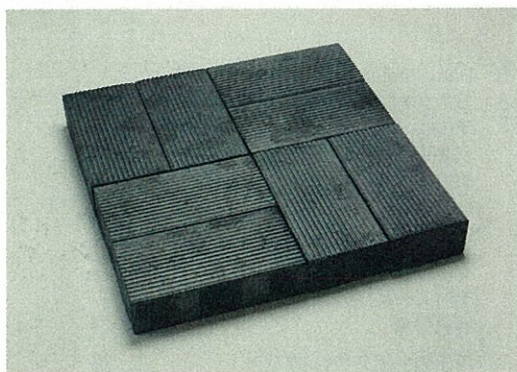
商品名 ほうしょう
 企業名 鵬翔 株式会社
 〒811-2207 粕屋郡志免町南里333 代表取締役 重松和門
 TEL 092-935-3583 FAX 092-935-3763
 URL <http://www.housho.com/>
 E-mail housho@guitar.ocn.ne.jp

審査講評 伝統的な博多織の帯の生地を使用したパッチワーク式の婦人用バッグ。

帯生地の特徴である軽さと柔らかい質感を活かし、これまでのバッグでは表現されていない帯模様を応用した多種多様な商品群を創り出していることが評価された。伝統的な博多織の技術を、現代的な解釈によりバッグに応用し、その表情にも多彩な可能性をみせているが、多少まとまりのないデザインとなっている。

バッグの持ち手などの生地以外の要素とパッチワーク状の模様とのバランスを考慮するなど、より現代的なデザインを期待したい。【森田昌嗣】

マテリアル部門

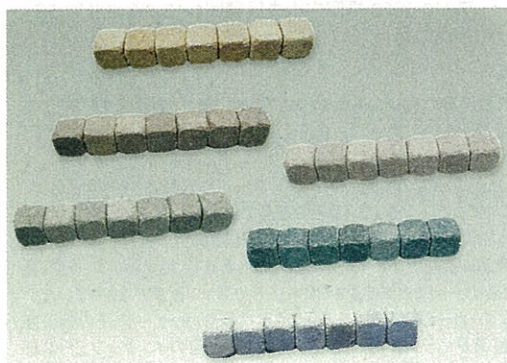


商品名 フリーウォーカー
 企業名 荒木窯業 株式会社
 〒830-0063 久留米市荒木町荒木823番地 代表取締役社長 福山茂
 TEL 0942-27-3231 FAX 0942-27-3234
 URL <http://www.ay-renga.co.jp/>
 E-mail info@ay-renga.co.jp

審査講評 とかく派手なカラーの、舗道用レンガブロックをよく見かけるが、フリーウォーカーは、ナチュラルでエコジカルなカラーに統一し、渋い色調でまとめている。

リサイクル原料を使用し、レンガ表面に細かいスリットを入れることにより、ノンスリップ効果と貼り方を変えた時のパターンの自在性が評価された。カラーも、均一でなくシェード違いによる色のバラツキが、より自然な味わいを醸し出している。【加生幸彦】

マテリアル部門



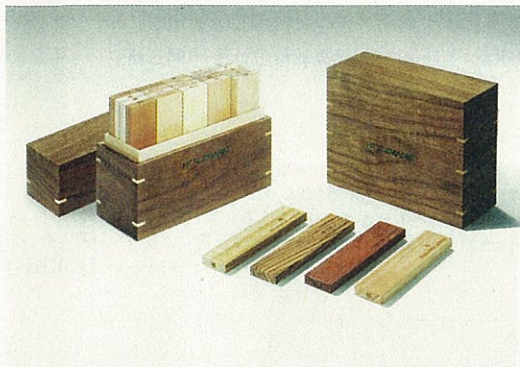
商品名 ハンディ連 (REN)
 企業名 株式会社 橋爪ブロック工場
 〒811-2202 粕屋郡志免町志免4丁目18番16号 代表取締役 佐藤義美
 TEL 092-935-0723 FAX 092-935-5777
 URL <http://www.hashizume-bf.co.jp/>
 E-mail goodbh@dream.ocn.ne.jp

審査講評 この手のブロックは、とかく角のある立方体にまとめがちであるが、角を落して丸みをもたせ、しかも1つ1つが微妙に違っており、やさしい表情に仕上がっている点、またカラーも派手すぎず落ち着いた色調にまとまっている点が評価された。

花壇の枠や舗石（ピンコロ）として、またインテリアのアクセサリなど用途は広がる。色の組み合わせにより、配色を楽しむことができる。【加生幸彦】

奨励賞

マテリアル部門



商品名 モクブル(木のサンプル)
 企業名 有限会社 ホルツマーケット
 〒830-0211 三藩郡城島町橘津1113-7 取締役社長 岸幹夫
 TEL 0942-62-3355 FAX 0942-62-2299
 URL <http://www2.saganet.ne.jp/holz/top.html/>
 E-mail holz@saganet.ne.jp

審査講評 木は建築、家具、玩具等には必要不可欠な素材である。しかし、木の種類を見分けることは、刺身を見て魚の種類を見分ける以上に難しいものである。それは子供のころから木に慣れ親しんで来なかったからである。木材サンプルを身近に見て、触ることにより理解できるようになる。最小限の大ききでサンプルボックスとしてきちんとまとめた点が評価された。ケースはダンボール等の安価なものでおしゃれにまとめるともっと普及すると思われる。 【加生幸彦】

テクノロジー部門



商品名 オーロラマキユリー
 企業名 株式会社 タカギ
 〒802-8540 北九州市小倉南区石田南2-4-1 代表取締役社長 高木寿雄
 TEL 093-965-1237 FAX 093-962-8876
 URL <http://www.takagi.co.jp/>

審査講評 従来型の散水用ホースドラムは、使用后片手でホースを握りながらハンドルを回して巻き取っていたため、ホースのねじれや、均等に巻き取れない欠点があり、巻き取りに時間を要していた。本商品は巻き取りドラムの回転に連動したホースガイドを設けることにより、ドラムの回転に応じて、ホースを左右に動かすことで、ホースのねじれや、ホースの片寄りを防ぐ機構とした。また、ホースに摩擦抵抗の低い素材を採用することで、引き延し、巻き取り作業を女性でも手軽に出来るようにした所が高く評価された。全体的な構成も強度に配慮しながら安定感のあるフォルムにまとめられている。今後の開発に当っては、明るく、楽しくなるような色彩の展開と、散水部の収納時の納まりを配慮して欲しいとの講評があった。 【大歯滋喜】

環境・福祉部門

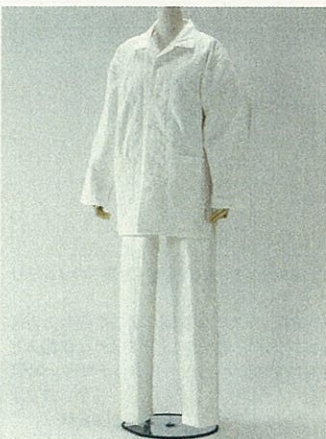


商品名 粉殻トレー製造用バイオマス自家発電システム
 企業名 株式会社 環創
 〒836-0862 大牟田市原山町194番地4 代表取締役社長 森次春好
 TEL 0944-41-9484 FAX 0944-57-3070
 E-mail ntbgh156@ybb.ne.jp

審査講評 本システムは、これまで2度の奨励賞を受賞した農業廃棄物の粉殻等を主原料としたトレー容器などの製造から廃棄までのリサイクルシステムを活用し、その廃棄物を燃料に自家発電するシステム提案である。

これまでは、粉殻製の環境に優しく安全な容器を製造し、使用後の回収・燃焼による粉殻発電、灰からシリカを抽出する独自のリサイクルシステムであったものに加え、廃棄物すべてをエネルギー源に代えるビジネスモデルを提示したことが評価された。今後の市場性獲得が期待される。 【森田昌嗣】

環境・福祉部門



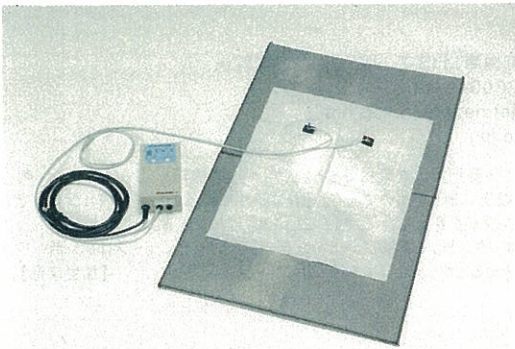
商品名 パシーマ入り付き長袖パジャマまる柄
 企業名 龍宮 株式会社
 〒839-1306 浮羽郡吉井町大字新治278 代表取締役社長 梯行一
 TEL 0943-75-3148 FAX 0943-75-3140
 URL <http://www3.ocn.ne.jp/~ryugu/>
 E-mail ryugu@crux.ocn.ne.jp

デザイナー 株式会社 長野繊維加工
 〒839-1301 浮羽郡吉井町桜井48-7 代表取締役社長 松尾實雄

審査講評 医療用のガーゼと脱脂綿を利用した「パシーマ」は、シーツとして全国的に認知されており、また昨年度、この素材の特徴をキルティング等に工夫したバスタオルが奨励賞を受賞した。

今年度は、これらの技術を湯上がり時にあたたかい肌着として直接着ることのできるパジャマに応用したことが評価された。特に、パジャマは、昨年のバスタオルと異なり部屋着としてのファッション性が求められる。本商品は、機能面を優先しながらも特徴のある「まる柄とたて襟」を用いた部屋着デザインにまとめられていることも評価された。 【森田昌嗣】

ライフスタイル部門



商品名 アクアセンサー
 企業名 株式会社 秋山工業
 〒811-1101 福岡市早良区重留4丁目14-23 代表取締役社長 中嶋三順
 TEL 092-832-8500 FAX 092-832-8510
 URL <http://www.akiyama-sp.co.jp/>
 E-mail akiyama1@msi.biglobe.ne.jp

審査講評 天井裏などの漏水を感知し、警報を発報するシステムである。またシート自体の吸水性が水損の軽減になるなど、新しいビジネス創出の可能性が評価された商品。
 市場ニーズは十分見込めるが、より具体的な商品メリットを訴える必要があると思われる。
 異業種とのコラボレーションを展開し、設置箇所の多様性やITの活用により、思いもよらない市場の広がりも期待される。 【鮎川透】

ライフスタイル部門

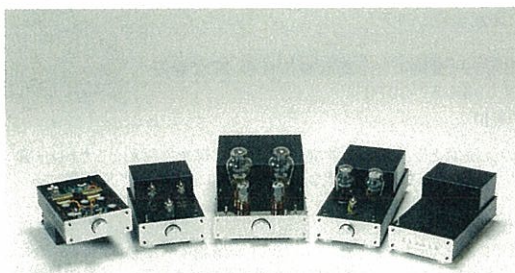


商品名 バルファンシリーズ
 企業名 株式会社 アダル
 〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目13-2 代表取締役社長 武野重美
 TEL 092-504-4141 FAX 092-504-3699
 URL <http://www.adal.co.jp/>
 E-mail info@adal.co.jp

デザイナー 北海道意匠計画室
 〒069-1522 北海道夕張郡栗山町中里51-133 間博信

審査講評 座面の深い、ゆったりとした布貼りのクッションと対馬ヒノキの間伐材、自然塗料などを使ったエコロジーをテーマとした商品。
 奇をてらわず、オーソドックスでいやみのないデザインがそのテーマとマッチしている点が評価された。ただ、コーナーの処理や表面仕上げの粗さなどまだ改善を要する点も見られ、より一層の努力を期待したい。 【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 エレキット 真空管アンプキットシリーズ
 企業名 株式会社 イーケイジャパン
 〒818-0105 太宰府市都府楼南2丁目29番30号 代表取締役 井口秀実
 TEL 092-923-8230 FAX 092-923-8237
 URL <http://www.elekit.co.jp/>
 E-mail info@elekit.co.jp

審査講評 誰でも簡単に製作できる真空管を使ったオーディオ製作キット。
 シンプルなデザインがテーマのシリーズ商品である。プリント基板の採用やわかりやすい組立説明書で「自分で」作りやすいデザインがなされている点が評価された。
 今後、筐体のプロポーションや、留めネジの処理などさらにデザイン性を向上されることを期待する。また説明書や操作系の部品に視力の弱い人でも楽しめる工夫があると更に作りやすくなるであろう。 【平井康之】

ライフスタイル部門

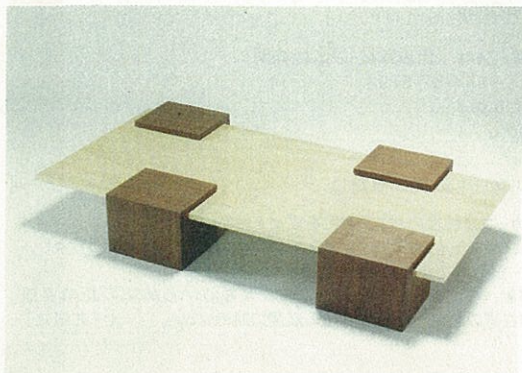


商品名 インフィルハウス大川の家
 企業名 大川の家ベンチャーグループ
 〒831-0028 大川市郷原483-8 会長 大関栄
 TEL 0944-86-6048 FAX 0944-86-6048
 URL <http://www.kumin.ne.jp/okawa-si/>
 E-mail okawa-si@kumin.ne.jp

デザイナー 有限会社 松林建築事務所
 〒831-0005 大川市向島1861 所長 松林茂光

審査講評 スケルトン（建築躯体）から切り離されたサステイナブルなインフィル（設備・内装）のインテリアデザインエレメントの提案。
 インフィルへの取組みによる新たな販売チャンネルの開拓、システム展開による経済性とカスタマイズの融合といった新たなビジネスモデルへのチャレンジが評価された。そのような取組みとコンセプトは評価されるが、個々の造形に関して今後さらにオリジナリティーのあるデザイン開発が必要である。 【平井康之】

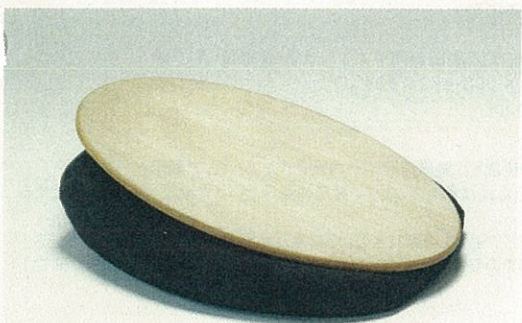
ライフスタイル部門



商品名 バックテーブル
 企業名 志岐木工 株式会社
 〒833-8691 筑後市長崎343 代表取締役 志岐賢剛
 TEL 0942-53-5566 FAX 0942-52-2311
 URL <http://www.shikimokko.co.jp/>
 E-mail info@shikimokko.co.jp
 Design Ship 虎 (福岡デザイン専門学校)
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目10-10
 代表 中嶋尚孝 (福岡デザイン専門学校環境デザイン科主任)

審査講評 脚部に切り込みを入れ、その隙間に天板を差し込むセパレート式のテーブルで、個性的な空間を演出するデザイン。シンプルで簡潔な造形性や、テーブルという家具を部品レベルで抽象化し、ユニークなジョイントのデザインによりテーブルからスクリーンへの多様な組替えを可能にした柔軟な発想が評価された。
 今後の課題としては、天板と脚の接合の安定性、スクリーンとして利用した場合の脚の裏面の処理などの改善が望まれる。 【平井康之】

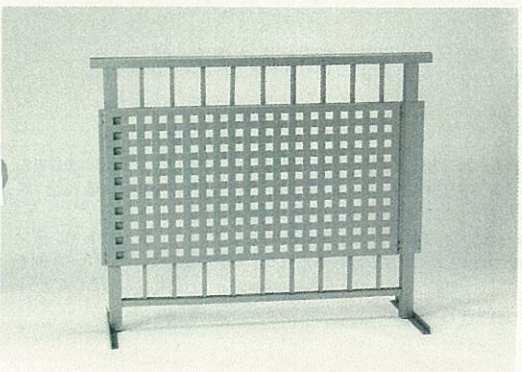
ライフスタイル部門



商品名 がばん
 企業名 志岐木工 株式会社
 〒833-8691 筑後市長崎343 代表取締役 志岐賢剛
 TEL 0942-53-5566 FAX 0942-52-2311
 URL <http://www.shikimokko.co.jp/>
 E-mail info@shikimokko.co.jp
 Design Ship 虎 (福岡デザイン専門学校)
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目10-10
 代表 中嶋尚孝 (福岡デザイン専門学校環境デザイン科主任)

審査講評 天板に取外し可能なクッションを取り付けたテーブルで、座った状態で膝の上に乗せて利用することができる。
 テーブルの新たな用途開発を行なっている点、また有機的で優しい形態が楽しさやイマジネーションの広がりを感じさせる点が評価された。
 今後の課題としては、クッション部と天板部のプロポーションのバランスや天板エッジ部の露出の処理、使用時における天板面の水平の確保などのデザインの改善が望まれる。 【平井康之】

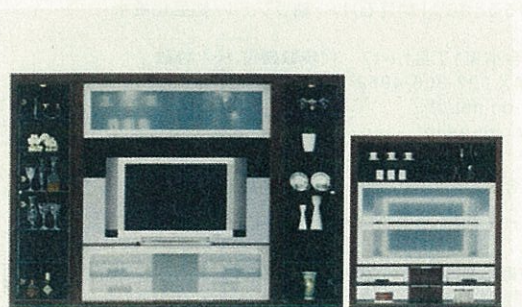
ライフスタイル部門



商品名 「d・FENCE」
 企業名 株式会社 伸栄金属製作所
 〒811-2303 粕屋郡粕屋町大字酒殿303-3 代表取締役 貴信篤
 TEL 092-939-1183 FAX 092-939-2492
 URL <http://www.sinei-k.co.jp/>
 E-mail info@sinei-k.co.jp

審査講評 ベランダの既設手摺に取り付けるアルミ製目隠しパネル。
 すでに当賞で受賞歴を持つヌキパネルを使い、既設部の加工手間を少なくし、かつバルコニー側から施工可能という工夫をしたことが評価された。
 マンションなどのプライバシーに対する住民のニーズに答えた商品であり、市場の反応は比較的真実ではないかと思われる。 【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 シンク口3350TV・シンク口3116キュリオ
 企業名 モリタインテリア工業 株式会社
 〒830-0405 三潴郡大木町横溝500 代表取締役社長 森田慎一郎
 TEL 0944-33-0873 FAX 0944-33-1128
 URL <http://www.moritanet.com/>
 E-mail morita-e@po.fukuokanet.ne.jp

審査講評 薄型テレビの普及に対応したその収納家具の買い換え需要を想定して企画された商品。
 シンプルな構成のなか、正面に上下に作動するアルミとポリカの組み合わせの扉を設け、テレビの形態や素材感との調和を考えた点などが評価された。
 木部の仕上げは手慣れたもので、完成度も高いがアルミ枠とポリカの納まりや意匠にまだ検討の余地が見られ、もう一步前進することを期待したい。 【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 GALA(ガラ) Settee/Side Chair
 企業名 広松木工 株式会社
 〒831-0024 大川市鬼古賀174-1 代表取締役 広松嘉明
 TEL 0944-87-6456 FAX 0944-87-5794
 URL <http://www.hiromatsu.org/>
 E-mail info@hiromatsu.org

デザイナー 森宣雄デザインルーム
 〒839-0811 久留米市山川神代1-4-18 森宣雄

審査講評 お尻のラインにフィットするカーブが特徴のバイン無垢集成材を活かした椅子。経済的な集成材の利用によるサステイナブルなデザインプロセスと、五感に訴えかける荒々しい削り込みの座面のテクスチャーを活かしたデザインが評価された。課題としては、軽量化など移動への配慮、スタッキング性の向上が考えられるが、このような長期にわたり安心して使用できる存在感のあるデザインの今後の展開に期待したい。【平井康之】

ライフスタイル部門



商品名 フィギュアケース T3AMC440型
 企業名 株式会社 マコム
 〒800-0227 北九州市小倉南区津田新町1-4-1 代表取締役 真子博
 TEL 093-471-7421 FAX 093-472-7824
 URL <http://www.makom.jp/>
 E-mail info@makom.jp

審査講評 液晶モニターによる映像再生機能、展示用照明が内蔵されたフィギュア展示ケース。ステンレスの折り加工という自社技術を活かして、食玩の展示という異業種を開拓しようとするチャレンジ精神が評価された。実際に食玩のコレクターがどのような場所にどのように食玩を展示して楽しむのか、「ケース」という既存概念を超えたところでの発想、デザインの展開が望まれる。【平井康之】

ライフスタイル部門



商品名 コトノハチャンネル コトノハブック
 企業名 福岡印刷 株式会社
 〒810-0001 福岡市中央区天神3-4-3 代表取締役社長 大隈信一郎
 TEL 092-738-3711 FAX 092-738-3708
 URL <http://www.inf.co.jp/>
 E-mail okabe@inf.co.jp

審査講評 誰もが自分のオリジナルな本を一度は出してみたいという願望は持っている。しかし、いままでの常識ではコストや手間や思い切り等の理由で、なかなか出来なかった。これを手軽さ、低料金、原稿入れのシステム化で実現したのが、この出品作品(システム)である。原稿は日々当システムのWebサイトに書き貯め、多少専門的になるが印刷方式をオンデマンドプリントで行い、装丁は幾つかのプランから選べると云う。アナログ情報の新しい方向を掘っていた。【かねこしんぞう】

インターフェース部門

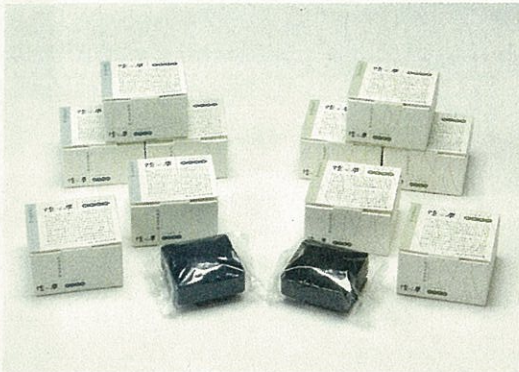


商品名 筑前博多丹念シリーズ「つるとささり」納豆石けん・納豆ジェル・納豆化粧水
 企業名 株式会社 オフィス K
 〒819-0161 福岡市西区今宿東1丁目19-17 代表取締役 松永勝政
 TEL 092-806-4911 FAX 092-806-4982
 URL <http://www.kenko-do.net/ofk/>
 E-mail office-k@sunny.ocn.ne.jp

デザイナー 鶴田広告事務所
 〒819-0161 福岡市西区今宿2丁目8-12-201 代表 鶴田訓義

審査講評 健康や安全に対する関心が大変高い昨今の時代に対応した肌用石鹸「つるとささり」である。納豆成分が配合された敏感肌やアトピーに悩む顧客向けの商品で、ネーミングですでに商品の企画意図がある程度は理解できるように、パッケージの表記に工夫がなされている。また、今回の出品作品の石鹸、化粧水、ジェルの3アイテムには共通の波ボール紙がパッケージとして使われていて、シリーズ商品としての連動性も配慮がなされていた。【かねこしんぞう】

④ インターフェース部門



商品名 燈心草 いぐさソープ・いぐさ炭ソープ
 企業名 まるは油脂化学 株式会社
 〒830-0002 久留米市高野2丁目8-53 代表取締役 林眞一
 TEL 0942-32-9529 FAX 0942-39-4146
 URL <http://www.nanairo.co.jp/>
 E-mail info@nanairo.co.jp

デザイナー 久留米工業高等専門学校助教授 藤田雅俊
 〒830-8555 久留米市小森野1-1-1
 福岡印刷 株式会社
 〒810-0001 福岡中央区天神3-4-3大隈ビル8F 岡部信義

審査講評 保湿力を高めた「燈心草いぐさソープ」、抗菌・清浄作用を高めた「燈心草いぐさ炭ソープ」。それぞれを使い分けることにより、肌の質、その日の気温などの環境の状態に合わせた肌の管理ができる肌用石鹸である。
 その商品特性が一目で分かるようにパッケージの表面に説明文がレイアウトされている。また、商品の一部が見える窓が付けられていたり、細かな工夫がなされている。文字の整理が少し必要と思われるが、熱意を感じる商品に仕上がっていた。
 【かねこしんぞう】

④ インターフェース部門



商品名 あんしんな洗濯用石けん
 企業名 まるは油脂化学 株式会社
 〒830-0002 久留米市高野2丁目8-53 代表取締役 林眞一
 TEL 0942-32-9529 FAX 0942-39-4146
 URL <http://www.nanairo.co.jp/> E-mail info@nanairo.co.jp

デザイナー 有限会社 NT DESIGN
 〒814-0142 福岡市城南区片江3-22-4 長峰秀麿
 垣田健一郎デザイン事務所
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂3-13-32-205 垣田健一郎
 株式会社 利助オフィス
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-15-6KH22ビル5F 手島裕司

審査講評 赤ちゃんや敏感肌の人にとって大敵の、洗濯後の生地のゴワゴワ感をなくすために合成界面活性剤や、蛍光増白剤を一切含まない洗濯用粉石けん「あんしんな洗濯用石けん」。
 製品レベルの開発意欲もさることながら、本年度の優秀賞を受賞した宮原タロとのコラボレーションによる開発の商品で、「あんしんな」のネーミングの共同仕様とパッケージなどの統一性を出し、総合的なあんしんブランドの確立に踏み出した視点が高い評価を得た。
 【かねこしんぞう】

シンボルマーク・トロフィー・表彰状



トロフィー(右:大賞、左:優秀賞)



(上) 表彰状 (下) パンフレット・チラシ

シンボルマーク

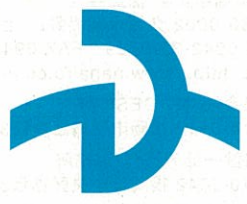


FUKUOKA DESIGN AWARD
2004

福岡産業デザイン界に虹をかけ新商品開発への未来性をアピールした FUKUOKA DESIGN AWARD のシンボルは、Design「D」に翼をつけ、ふくおかの「ふ」をディフォルメし地球環境時代の人と社会、人と環境、「モノづくりとデザイン」のバランスとテーマ性を大切にした紋様としてのメッセージ性が込められています。

福岡県産業デザイン協議会では、本シンボルマークを各種イベント、パンフレットなどに利用し、福岡県産業デザイン賞や受賞商品の広報活動や販売促進活動に役立てています。

デザインプロデュース:平松暁(シンボルマーク制作者)
 トロフィー製作:(株)ワキタハイテクス/トロフィーデザイン:平松暁
 表彰状・パンフレット:平松暁デザイン総合事務所(有)パートツウ
 写真:フォトオフィストオノエ



FUKUOKA DESIGN AWARD
2004